

# 平成13年度 個別課題見直し表（新規分）

部局名 教育委員会

課 題 名	三重県乳幼児教育センターの運営について
-------	---------------------

## 1 現状

人間形成の根幹を担う乳幼児教育の充実と振興を図るための施策を講じることは行政の役割であり、県と市町村が共に協力しながら推進していく必要がある。

こうした中で、三重県の乳幼児教育を一層充実させるため、乳幼児教育センターは、本県の乳幼児教育の振興の中核となる機関として、公立・私立の保育所、幼稚園を視野に入れ、研修、相談、調査・研究、情報サービス、子育て支援等の事業を推進し、一定の役割を担ってきた。

また、一部の市においては、地域の乳幼児教育センターの機関として独自に運営しているが、多くの市町村では、研修体制や子育て支援体制等の基盤が確立していない現状にあることから、これまで県が主体となって乳幼児教育センターを運営してきた。

## 2 課題

乳幼児教育センターは、本県における乳幼児教育水準の維持向上及び市町村間の格差是正を目的として設立された経緯がある。設立されて6年が経過した現在、これまでの乳幼児教育センターの事業が当初の目的にどのくらい応えられているか、また、地方分権推進の流れの中で、今後の乳幼児の教育を推進する上での県と市町村の役割についての視点も加え、本県の乳幼児教育を見直していく必要がある。

## 3 今後の検討の方向性

今後の乳幼児教育の充実・振興にあたっては、平成11年7月16日に交付された「地方分権一括法」の趣旨に則り、設置者である市町村の自主・自立の精神を踏まえながら推進していく必要がある。このため、広く乳幼児教育関係者等から、その効果的な方策について意見を聴取する「今後の乳幼児教育のあり方に関する検討委員会」を設置して、平成12年度を目途に一定の方向性を見い出す。